COOP-J050

News Letter

常総生活協同組合

発行 / 生協広報G



世界の政治家たちが利権・権益をめぐって危険な火遊びを始めようとしている。朝鮮半島情勢が「緊迫」 していると宣伝される。テレビでは北朝鮮のミサイルが東京に落ちたらなどと騒いでいる。

米トランプ大統領はシリアへ巡航ミサイルを打ち込み、次は北朝鮮とばかりに原子炉を積んだ大型戦闘艦空母カールビンソンを朝鮮半島に向けて北上させている。さらに中国を仕掛けて北朝鮮向けの石油を止めて北朝鮮を干上がらせようとしている。北朝鮮もさかんに挑発してアメリカの出方をうかがっている。かつて石油禁輸で包囲されて日本が真珠湾攻撃を仕掛けたのを思い出す。極東アジアの米軍の軍事拠点は沖縄。そして米海軍原子力空母は横須賀にいる。日本に米軍基地があるから標的とされる。被害を受けるのはそこで暮らす庶民。

米ペンス副大統領は4月18日、韓国からの帰り道で日本に立ち寄って安倍首相と会談。

ペンス「平和は力によってのみ初めて達成される」「米国は 100% 日本と共にある」 安 倍「日米同盟の強固な絆は揺るがない」 「アメリカの北朝鮮政策を支持」ついでに 米のシリアへのミサイル攻撃も支持すると。

昨日(19日)、ペンスは米海軍 横須賀基地の原 子力空母ロナル ド・レーガン艦上 で海兵隊を前に



「北朝鮮が最大の脅威だ」「沖縄・尖閣も米国の防衛

義務」と演説。日米は近く原子力空母カールビンソンと海上 自衛隊艦艇の共同訓練を実施するという。いよいよ公然たる軍事同盟だ。

私たち庶民はゆめゆめ同じ土俵に乗ってはいけない。 国家の宣伝・扇動・強制・ 洗脳によって、祖父たちは アジアの人々との殺し合いに 狩りだされ、残された祖母や 子どもたちは平穏な暮らしや 家族を破壊された。





そもそも、朝鮮半島の人々が民族分断されたのは 1910年突如日本軍が侵攻して朝鮮を植民地支配(朝 鮮併合)したことに端を発する。平穏に暮らしていた 人々が突如侵略に巻き込まれていった。

やがて日本は満州を占領し、さらに日中戦争を引き起こす。日本の国民は植民と殺し合いの前線に駆り出された。同時に、日本のアジア植民地侵略によって、そこに住み暮らしていた人々がいかなることをされたのかを私たちは思い起こさなければいけない。

1945年日本による植民地支配から解放されたと思いきや、今度は米ソの対立で民族は分断されそれぞれの軍事独裁政権が生まれ、再び人々は苦しめられた。

北朝鮮の為政者の狂気をとやかく言う前に、私たちは同じ「人々」として、独裁政権下で口をつぐまざるを得ない北朝鮮の人々、世界から経済制裁を受けて生活物資が制限された北朝鮮に暮らす人々のことに思

【2017年4-5 月の予定】

●生協基幹運営/地域活動・催し●

- 5.2 (火) 山本先生による憲法学習会
- 5.10 (水) 脱原発と暮らし見直し委員会 (第64回)
- 5.12(金) 監査会(会計監査・業務監査)
- 5.13(土)常総朝市、共生食品料理講習会
- |5.22(月) 第 44 回常総生協総代会議案書配布開始
- |5.27(土)都留さんの歴史講座、稲葉先生の料理講習会
- 5.31(水) 第13回理事会

4.26 チェルノブイリ原発事故から31年

4. 26 プェルノノイリ原発事故から31年 4. 27(木) 東海第二原発差止訴訟第 17 回弁論期日

(午後)訴訟団集会

- 5.13(土) 関東子ども基金協力医師懇談会(研究会)
- 5.13-14(土.日)常総生協本部にて甲状腺・血液検診

▶提携・協同・連帯企画

- 5.20(土) 東海第二原発再稼働問題学習会(ひたちなか)
- 5.28-29 (日・月) 福島有機農業猫の手応援隊

いを至らせたい。やがて北朝鮮の人々は本当の解放 に立ち上がるだろう。

南朝鮮(韓国)の民衆は苦しい民主化闘争を闘い 抜いて朴軍事独裁政権を倒し、その歴史経験をもって 今再び大統領となった娘の利権を追求して政権を交代 させた。

日本の植民地下で人々が何をされたか・・・そのひとつの象徴的な慰安婦の事を歴史の表(おもて)に明らかにするのに、被害女性たちがどれほどつらい思いと長い苦労をしてきたことか。少女像は人間の尊厳も人格も侵す戦争という状況下で人々がどのようにされてしまうかを忘れないためにある。私たち同じ庶民・市民の共通の自省のための像だと思う。暮らしを破壊され人権を蹂躙された人々はそれを繰り返させないために次の世代にもその「怨」を伝えている。

国際法の根拠もなくシリアに巡航ミサイルを撃ち込んで他国の国土と人々を破壊するアメリカ為政者の狂気、北朝鮮為政者の狂気、そしてアメリカと軍事同盟をすすめる日本の為政者の狂気。「核兵器」を云々しているが、「核」の自爆(原発事故)で人々を被ばくさせ10数万人の難民を生み棄民しているのはほかならぬわが国。いずれも同じ狂気である。

それぞれの国の国民・市民・庶民ができることは自

らの為政者を正すことだ。為政者による戦争で被害と 相互の苦しみを受けるのはほかならぬ庶民だから。「国 民の生命・財産を守る」などというのはとんでもないウ ソだ。

決して、為政者に扇動されて、為政者といっしょになって「攻撃されたらどうするか」などということに乗ってはならない。この思考の誘導こそワナだ。

自らと世界の人々の多くのいのちの犠牲の上に世界が産み落とした日本の「平和憲法」。歴史的自省の上に立って、今こそ私たちは憲法を現実の政治に適用し、 再び戦争に至る道を阻止することだ。そうすることで世界で暮らす人々と対立ではなくつながることができる。

日々の暮らしに忙しくても、貧しくても、わたしたちは 同じ人々のいのちを大切に、大切にしてゆく精神と思 想を持ち続けることだ。

日本の平和憲法を、世界の憲法にしてゆく努力が私たち日本の国民の歴史使命なのかもしれない。

今週は平和の心を先導してくれている関谷さんが寄稿してくれました。地方のこんな小さな私たちの生協の中にも「平和の委員会」がつくられ、憲法・歴史講座が開設されている。小さな力、小さな気持ちを共有し、次の世代に伝えている。ぜひごいっしょを。

施行 70 年目の憲法記念日を前に。(O)

【寄稿】平和の集い、歴史・憲法講座によせて(平和の集い実行委員 関谷和子)

今週は常総生協の中に平和の集い委員会が生まれるきっかけを作り、今も地域に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える活動を続けている関谷和子さんに寄稿して頂きました。生協の平和の委員会、憲法・歴史講座の紹介とともに、今関谷さんが地域に広く呼びかけて準備をされている巡回写真展「沖縄は今!やんばるの森・辺野古の海」のご案内もお願いしました。

常総生協「平和の集い委員会」のはじまり

6年前私は「テレジンの子どもたちの絵画展」(ナチスが占領したチェコスロバキアのテレジン収容所で子どもたちが描いた絵の展示会)を開催しました。その時に協賛して手伝ってくれたのが常総生協のみなさんでした。

当時私は生協にも入ってなかったのですが一緒に活動し、その後組合員になり「平和」の活動に加わることになりました。

「平和の集い委員会」が生協の中にできました。 掩体壕、柏の陸軍飛行場跡、戦争と暮らし展、 兵站兵士の遺族の方のお話、それぞれの企画に 取り組む過程で多くのことを知り、お話を聞き、やら ねばならないことの多さに戸惑ってしまうこともありま した。

そして2015年秋頃から次年度に向けての企画の 話し合いが始まりました。前理事長の村井さんの呼 びかけでしたが、憲法そのものよりその背景にある ものなど数回にわたって学習会をやろう、ということになりました。こうして山本先生、都留先生の連続講座を行うことになりました。

私たちの暮らしと憲法、歴史を学ぶ

去年4月から始まった「私たちの暮らしと憲法」山本先生・「歴史を学ぼう一未来のために」都留先生、2本立てで8月と1月を除き毎月行われ、今年3月までに各10回の楽しい授業でした。講師の方にはお忙しい中、本当にありがとうございました。

私は予習復習ゼロで習ったこともすぐに忘れてしまいますが、めげずに出席し、パワーポイントや貴重な映像を見、みなさんの意見や体験談などお聞きし、そのうちに自由民権運動がどうやって今の憲法につながるのかその流れが体感できるような喜びも得られました。

55年体制と市民運動、教科書の選定、撫順の奇蹟、天皇制、沖縄の問題。断片的なテーマですが

積み重なって押し寄せてくるような、未来のための 重みと責任とちょっぴり希望も見出せます。

今年4月からは「日本国憲法」が具体的に始まっています。新しく解明された事項も話題になるようです。先生は皆勤賞ですが生徒たちは五月雨かな?誰でも都合のつく時好きな時に参加 OK です。気軽に参加してみてください。

沖縄の巡回写真展を準備中!

歴史を学ぶ中で唯一戦場になった沖縄。戦後の 苦難と闘争、今なお続く基地問題。美しい沖縄の 海とやんばるの森、貴重な自然の宝庫・・・。

みなさんに呼びかけて巡回写真展「沖縄は今!

やんばるの森・辺野古の海」の準備をすすめています

スタートは 6 月11日の常総生協の総代会会場(取手)からです。沖縄の写真パネルを総代会の会場で見ていただきたいと思います。同日から龍ヶ崎9条の会(6/11)、つくば母親大会(6/24)、茨城県母親大会 in 取手(7/2)、つくば市民ギャラリー(6/27~7/2)を巡回する予定です。ぜひ家族で来てください。お手伝いも大歓迎!

7/1 には沖縄タイムスの西江記者を招いて講演会「誤解だらけの沖縄基地」をつくばで開催予定です。

巡回写真展「沖縄は今!やんばるの森・辺野古の海」

みなさま、沖縄、行ってきました。去年暮れにオスプレイが墜落した時に 行って以来、3ヶ月ぶりの辺野古・高江です。私と都留さんと数人で、何か 私たちができる行動はないか、と話をしました。辺野古の基地建設と高江の



ヘリパットの工事を食い止め、沖縄 そして日本の平和と安全、子どもた ちの未来のために何かできるか考え

ました。辺野古のテント村(この日は座り込み 4,711 日目でした)でお会いした石原艶子さんからのお話で、彼女の所有する写真パネル100枚の展示会をやろう、ということになりました。いっしょに写真展をやりましょう!法と人権の問題です。何よりも、未来の子どもたちの命にかかわる問題です。(関谷さんの呼びかけメールより)

仲間づくりコラム(常勤理事 矢島)

食を通して地域と繋がるコミュニティーづくりがしたいという想いが繋がり始まった、香辛飯屋新柏店とのコラボ企画朝市は今回で3回目を開催することが出来ました。今後も7月を除く毎月の第3土曜日に継続して開催予定です。

今回の体験企画はミニトマトすくい!

大人も子どもも一緒になって逃げゆく トマトを追いかけました。

「ほらほらトマトを寄せてやるよ採ってごらん」とお父さん。

「あんた!楽しんでるんだからじゃましないで!」とお母さん。 笑顔あふれるゆっりとした空間がそこにはありました。







試食で用意した鈴木牧場ヨーグルトや 柏田中のトマトも大好評。今回は鈴木さんの牧草も持ってきたので、みんなでムシャムシャ「あま~い」「いい香り~」牛さんの気持ちを実感です(笑)

そして、回を重ねるごとにリピーターが増えていく成田三里塚ワンパックの美味しい無農薬野菜。春キャベツや玉ねぎが飛ぶように売れました。購入者から「次回はいつくるの?」「前回買ったヤーコンすごく美味しかったわ!」

と嬉しいお声を沢山いただきました。ありがとうございます。

次回開催は5月20日(土)9時30分より開催致します。遊びに来てください。

4/4 第63回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2017 年4月4日(火) 常総生協本部組合員室 13 時半~ 16 時 15 人参加。

★ 4/1「講演会」報告

【午前】清水雄一先生講演会 甲状腺がん の現状と将来について専門家のお話を聞きました。

【午後】広瀬隆講演会 地震と原発について の力強いお話を聞き反原発の決意を新たに しました。

★チーム活動報告

○市町村のセシウム測定データ収集

各自治体とも検査数が減っています。山椒、 月桂樹で検出されています。

〇土壌調査

自治体で計測した検体を生協でも測定して比較してみました。

★児玉順一先生講演会

6/18 (日) 14:30 ~ 16:30 生協で開催することになりました。詳細は今後詰めていきます。

★生協の放射能計測データのまとめ

事故後6年間の測定データのまとめと評価 が始まります。委員会も土壌調査やまとめ作 業など協力することになりました。

★次回は5/10(水)10時~13時(生協本部)の予定です。

どなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽にお越しください。

「小さな上映会だより2017-(1)」(生協DVD貸出状況) 脱原発とくらし見直し委員会

DVD を利用される皆様、感想をお寄せ頂きありがとうございます。ほとんどが寄付で出来た、生協のDVDライブラリーを利用されて、一言でも二言でも感想を頂くと、DVDが役に立っていると言う実感がわきます。 職員の方にも多忙の中、協力を頂いています。ぜひお子様と一緒にご利用ください。

次週、貸出 DVD の一覧と申込み用紙を掲載いたします。

タイトル	人数	観た場所	観た組合員さんの感想(お礼の言葉は一部省略しました)
フードインク	1	自宅	食を守る方法もある事を最後に出してきて少しほっとした。実行する事が大切と思っ
			た。生協は大切と思った。
	6	自宅	かなりの衝撃でした。もっと食の安全を見直していく必要と共に、社会の仕組みの
			恐ろしさを感じました。
	2	自宅	改めて食について考える機会になりました。常総生協のお陰で、私達は顔の見え
			る物を供給して頂き、生活していけることを有難く思っています。多くの方に観て頂き、
			生協の供給高にも貢献できると良いと思います。
ミツバチの羽音と地球の回転	1	自宅	まだまだ内部被爆は続いている。油断してはいけないと再認識しました。
	1	自宅	3.11前から長い間原発に反対していた人がいた事を知らなかったし、今になって
			も世間の人が知ろうともしないのが、悔しい。スエーデンは素敵な国だと思う。日
			本のお手本の国として、これからのエネルギーを考えて欲しい。
見えない雲	3	自宅	いい作品でした。福島原発の事故はこの後です。原発をよしとするのは、許せな
			いし、ありえない。
福島・六ヶ所未来への伝言	1	自宅	福島事故からもうすぐ6年になります。映画を見ていると気持ちが2011年に戻って、
			つらかったことを思い出します。まだ続いていますが・・・・
放射性廃棄物終わらない悪夢	2	自宅	再処理の恐ろしさを知りました。放射能を利用した人と被害を受ける人が違うこと
			に怒りを感じました。日本で使った原発のゴミがロシアに埋められていて、汚染で
			周辺の人が病気になっている。遠いロシアを汚染している原発を今すぐ止めたい
			です。早くクリーン電気に乗り換えなくては・・。そんな電気を今まで使っていた
			のですね。反省!加害者になってしまう。

組合員、生産者、職員の広場

O 4月3回の News 中面に掲載した供給部 阿部さんの担当者 News 【あべ chan.com】 の反響コメント



「あべ chan.com」、私もずーっと楽しんで拝読してきたファンの1員です!配送コースの改定で阿部さんから宮部さんになりましたが、阿部さん!目は大事ですから!!無理のないようにして下さいね。エッセイスト・阿部の今後の活躍を期待し

ます!!

※阿部さんだけでなく、他の方のニュースも読みたい ので特集組んで下さい!!

(牛久市 K さん)

あ…あべちゃん.com !!!うれしいです!!以前 担当していただいてた時のちゃんと残してあります! これ、本〜当 大好きなのでぜひ出版して頂きたい。 あべファンよりその後 眼は大丈夫でしょうか?

(つくば市 N さん)

News の「あべちゃん .com」おもしろかったです。普段なかなかお話しできない供給の職員さんのことがわかり、親しみやすくてよかったです。

(守谷市 N さん)

私も以前、阿部さんが担当だった時、あべ chan.comを楽しみにしていました。ご無理をなされないで下さいね。

(つくば市 Sさん)

今回初めて担当者 News を中面に掲載してきましたが、組合員さんからの反応があったことにすごくうれしく思います。今後日頃の供給担当者の News を少しづつ紹介していける様にしていきます。恥ずかしがり屋の多い供給職員ですが、組合員の皆さんの笑顔がパワーの源です。今後も宜しくお願い致します。ちなみに阿部さんの目は順調に回復に向かっています。御心配ありがとうございます

(専務理事 伊藤)

〇にぼし美味しかった!(^^)!



黒沢さんのお米(玄米) X 5kg X 1 袋、また今回のにぼし(4月3回 N0.397)はとてもおいしかったのでたくさん注文します!(いつものはだしようで、今回のは食べる用

に使い分けたいと思います)できましたら今後は定期 的に取り扱って頂けないでしょうか。

どうぞよろしくご検討ください。今後ともどうぞよろ しくお願い致します

(つくば市 Tさん)

ご意見ありがとうございます。

不定期な企画で組んでいた商品ですが、組合員さんからの要望も多数あるため、今後定期的に企画していくように致します。

(商品部 丸山)

〇柏田中の完熟トマト



このトマト美味しいね。突然夫が感動 の声をあげました。「ついにわかったか この美味しさが。味オンチの夫にも」 というわけで老人2人が大ファンの柏

田中の完熟トマトです。いつもありがとうございます。 (取手市 Sさん)

ご意見ありがとうございます。

柏田中の完熟トマトは5月が一番味がのって美味しい時期です。期間限定期間限定(7月2回までの予定)の商品ですので、是非このタイミングでご利用下さい。 (商品部 小宮山)

〇当たり前の主張が聞かれる司法を!!

今号(4月4回)のNews letter「わたしたちの生協はどうして原発の運転差し止めを裁判所に訴えているの?」を読みました。説得力のある内容です。

併せて"広瀬隆さんの講演を聞いて"も読みました。 改めて事の重大さ、深刻さに震撼とします。これだけ の重要案件なのになお再起動を企む国や電力会社の危 機感の無さ、無責任体質には唖然としますね。4月 27日の水戸地裁には行けませんが、せめて裁判の行 方を子供達に手渡す将来のこととしてしっかり見てい きたいと思います。

当たり前の主張が聞かれる(司法)ように。

(取手市 M さん)

広瀬さんの講演会行けなかったのですが、感想(伊藤さん)を読めて良かったです。原発って本当に何も良い事がないのに、そして広瀬さんのエネルギー私も日々の生活でうすれてしまっていくのですが、何か形にしていければいーな・・・と思いました。

(我孫子市 F さん)

東海第二原発再稼働ストップへ!! 日本原電の「新協定」に対する拒否要請に常総生協も賛同しています。

茨坎

3月24日に原電は原子力所在地域首長懇談会に「安全協定改定に対するご回答」を示しました。

3 月 26 日の東京新聞

房界

2017年(平成29年)3月26日(日曜日)

首長懇談会

事前了解

0

権限拡大触れ

す

原電に求めることもでき

の安全確保に必要な対策を は応じる。また、原発周辺 議会」の開催を求め、

取り決めを交わして「説明

全協定は見直さずに新たに

べることができる。その上

で、六市村は必要に応じて

ら説明する」とした。

昨年十二

一月、原電は、安

た、県に対しては「これか ている」と強調した。ま

「合意形成を図るための協

故以降、東海第二原発の

東京電力福島第一原発事

協定見直し



東海第二

制に回答書を手渡す原電の村松衛社長=東海村で 原子力所在地域首長懇談会の座長、山田修東海村長 原発の再稼働や延長運転に 原電の案では、

ついて事前に六市村に説明 するほか、 「同等

懇談会を構成する六市村側に事前に説明する。しか を巡る原子力安全協定の見直し問題で、原電は二十 し、これまで同様、 を締結する案を示した。この協定によると、再稼働 四日夜に開かれた原子力所在地域首長懇談会(座長 したり、四十年を超えて運転したりするときには、 山田修東海村長)で、 日本原子力発電(原電)東海第二原発(東海村)

事前了解の権限拡大までは踏み 安全協定とは別に「協定」 (山下葉月) 恐れ、 た。 了解」 村の立地自治体だけが持 地自治体に波及することを 改定が全国のほかの原発立 結成するなどして、県と 周辺自治体は、懇談会を

しかし原電は、協定の 「新増設等に対する事前 の権限を求めてき

解には触れていないが、 解と)重みは同じだと思っ 長は「合意形成は(事前了 材に応じた原電の村松衛社 今回の提案でも、事前了 取

詰めるとしている。 までに協定の見直し協議を 能になる。懇談会は、 一原発の運転延長申請が可 原電は八月から、東海第

要求に応じていな は不十分との認識を示し

は、 の)権限の付与はあいま 定の理解を示した。一方 と述べ、原電の提案に が同等の権限を持つ部分 い」と述べ、今回の提案で いて、山田村長は 前回の提案との違いにつ 要望に応えている」 「最終的な(事前了解

しかし、 を尽くす」方針を示した。 「ゼロ回答」と突き返 懇談会側は納得せ

■現行協定

(新増設などに対する事前了解)

原電が、原子力施設や関連施設を新設・増設 しようとするときは、事前に県と東海村の了 解を得る。県は、必要があれば村隣接4市に 意見を求める。

■新協定案

(再稼働や延長運転する際、原電は6市村に対し…)

- 事前説明と意見交換をすること。
- 「合意形成を図るための協議会」の開催の求め に応じなければならない。
- 協議会での議論の結果、6市村が求める対策に 誠意を持って適切に対応しなければならない。

要請書では、新協定案について「6市村の事前説明 を聞くこと及び、それに対し意見を述べる権限は認める が、懇談会が要求している事前了解の権限は一切認めな い」とするものです。福島第1原発の過酷事故を受け て、原発事故の被害の広範囲さ、深刻さを目の当たり にした6市村首長らの真剣な見直し要求の核心部分を ごまかした回答であり、このような回答は、東海村民 はもちろん、周辺自治体住民からみても断じて容認で きるものではありません。

さらに、「事前説明」は、今まで15市町村で行わ れていた説明会を開かず、6市村行政担当者のみの説 明で終わらせようとするもので、今までよりも後退し た内容といわざるを得ません。

この「新協定案」を成立させないために、脱原発を訴 える市民グループ、団体で賛同を集め、合計 58 団体 の有志が集まりました。3月24日東海村 山田村長 に「新協定を拒否するよう求める要望書」を提出しま した。

常総生協も組合活動委員会であるも脱原発くらし見 直し委員会として団体賛同しています。

あの手、この手を使って再稼働を使用としていく事 に常総生協は市民の方々と共に立ち上がっていきま す。

-写真は山田村長 (左) に要望書を手渡す市民グルー プ=東海村役場にて